美術館へ行こう!

ブリュッセルのベルギー王立美術館で、著名画家の作品展が開催されています。天気の良い日にお散歩がてら出かけて、美術品に触れ自己啓発をしてみませんか? 優雅な気分に浸ってみましょう。

Rik Wouters リック・ウータース回顧展 www.fine-arts-museum.be/en/exhibitions/rik-wouters

日時:開催中~7月2日(日)

火~金10h~17h、土·日11h~18h、月休

場所:ベルギー王立美術館

Rue de la Régence 3, 1000 Brussels 入場料:大人€14.50、65歳以上€12.50 26歳未満€8

1882年、メッヘレン生まれのベルギー人画家・彫刻家。強烈な色彩を好むフォービズム派の芸術家で、多彩な作品を世に送り出しましたが、1916年、がんを患い33歳という若さで亡くなりました。

世界30カ国あまりの美術館や個人所有の作品、未公開の作品が展示されています。ウータースの作品は、色彩の豊かさや心に関するテーマを元にした、簡素ながら感動を与える肖像画、風景、静物などです。デッサンや彫刻も同時に展示されています。マグリット、デルボーや、アンソールと同時代に生きた彼の作品を通して、ベルギーの絵画を堪能しまう。彼の没後100年を記念して、展覧会は幕を閉じます。

土・日の14h~18hに、無料のワークショップが開催されています。絵画ファンのみならず、作品を鑑賞した後で、



芸発らとて品てもでにれよ戦念作るしね。

Angel Vergara アンジェル・ヴェルガラ 風景から風景へ

www.fine-arts-museum.be/en/exhibitions/angel-vergara

日時:開催中~7月2日(日) 火~金10h~17h、土・日11h~18h、月休 場所:ベルギー王立美術館 Salle Bemheim Rue de la Régence 3, 1000 Brussels 入場料:常設展またはRik Wouters回顧

展の入場料を持っていれば無料

1958年、スペイン生まれ。ブリュッセル在住の現代芸術家。パフォーマンス、ビデオ、設置、デザイン、絵画と様々な分野で活躍中。これらの技術はいずれも、ヴェルガラの画家としての世界をらに開拓し、倫理的かつ美的に表す方定です。新しい具象画へのアプローチとして、画像の再解釈や、動画中の言葉から得られる現代的な絵画への問題や課題を提案しています。

最近の作品は、絵画を組み込んだオーディオビジュアルな分野で開拓されることが多く、映画の一場面としても注目を 集めています。ベルギー人の現代画家の 作品を通して、ベルギーの現代美術に触 れてみましょう。



Pierre Lahaut ピエール・ラオ〜60年代〜 www.fine-arts-museum.be/en/exhibitions/pierre-lahaut

日時:開催中~7月2日(日)

火〜金10h〜17h、土・日11h〜18h、月休 場所:ベルギー王立美術館 Patio niveau 0 Rue de la Régence 3, 1000 Brussels 入場料:常設展またはRik Wouters回顧 展の入場料を持っていれば無料

1931年、ブリュッセル生まれのピエール・ラオ(2013年没)は、人文科学を学ぶと同時に、イクセルの私立美術学校で絵画も学びました。パリをはじめ、ブリュッセル、ナミュール、モンスなどで芸術活動をする傍ら、教師として若手芸術家を養成しました。

その作品が、20世紀後半の象徴主義、ミニマリズム、新主観主義、幾何学画などの芸術活動変遷の証として挙げられるラオは、ベルギー若手画家賞を2回受賞しています。また、ベルギー若手比喩派(Jeunes Figuratifs belges)のメンバーやAxe 59(造形芸術グループ)の創立者の一人としても活躍しました。

ラオの今回の特別展では、1960年代 の40点余りの作品を展示しています。 デジタル技術の進歩で、今日、再び、写

